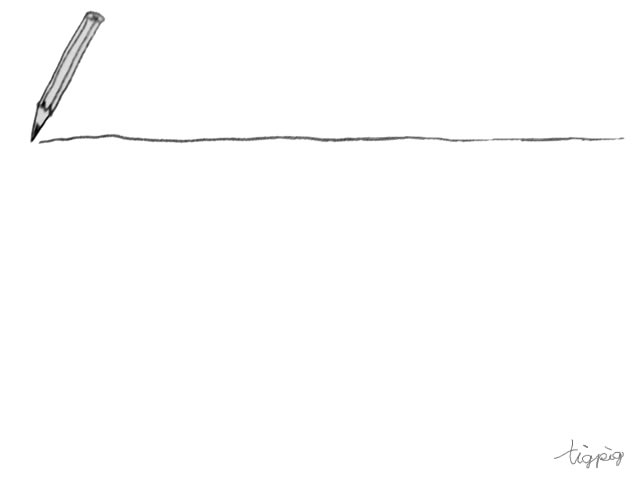
あきたけ病児保育室だより　2月号



[この写真](https://tigpig.com/archives/19504) の作成者 不明な作成者 は [CC BY-ND](https://creativecommons.org/licenses/by-nd/3.0/) のライセンスを許諾されています



**『あきたけ病児保育室』ってどんなところ？**

**「お子さんが急に熱が出た。。。」、「感染症になってしまい保育園や学校に行けない」**

**「仕事が休めないし、預ける人もいない。。。」そんな時、あきたけ病児保育室は、**

**あきたけ医院の2階で、病中、病後のお子さんをお預かりする保育室です。お気軽に相談ください。**

**◎保育時間 　月～金 ８：３０～１７：３０ 土８：３０～１３：００**

**＊対象年齢：概ね生後3ヵ月から小学6年生まで**

新型コロナウイルスの影響もあり、家庭での感染症対策も強化され、病気にかかることも　　　　　　　少なくなっていると思います。ですが、こんな時こそ更なる注意が必要になると思います！

この時期には、「溶連菌感染症」、「感染性胃腸炎」が流行ります。この二つの病気について

説明いたします。

◇**溶連菌感染症**◇

**・症状：**突然の発熱、のどの痛み、全身の倦怠感があります。また、身体や手足の発心が出て　　かゆみを伴うことがあります。

**・治療：**のどの検査で溶連菌に感染が確認されたら、抗生剤を処方されます。１日～２日で　　　熱が下がり、のどの痛みも消えていきます。ですが、途中で薬を止めてしまうと　　　　再発します。他にも、リウマチ熱や、腎炎を起こすこともあります。　　　　　　　　　　**薬は指示通り最後まで飲むことが大切です！**

**・家庭で気を付けること：**家族にも移りやすい病気なので同じ症状があるなら直ぐに　　　　　　検査が大事です。食事に関しては、熱いもの・辛いもの・酸っぱいものは止めときましょう。入浴については、熱がなければ特に　　　　　　気にしないでも、大丈夫です。

＊**「２日以上熱が下がらない」、「のどが痛くて水分を取らない」**などある場合は、もう一度受診が　必要です。

◇**感染性胃腸炎**◇

**あきたけ病児保育室**

**住所：門司区東門司２－４－１８**

**TEL：093-321-0541　または　090-6491-3697**

**病児保育室担当　秋元**

**・症状：**ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスなどが原因で起こる腸炎です。　　　　　突然の嘔吐、続いて水のような下痢（レモン色、白色）になります。　　　　　　　　　発熱することもあります。

**・治療：**ウイルスなので抗菌薬は、処方しません。整腸剤などを処方し、水分補給が大切に　　　なります。嘔吐などで脱水がみられる時には、点滴なども行います。

　・**家庭で気を付けること：**嘔吐がひどい場合は、スプーン一杯から徐々に水分をとる量を

増やしていく。飲むものも、経口補水液が好ましいです。

下痢のみの症状になった際は、消化にいいものを食べさせましょう。

＊**「病院から戻っても吐き続く」、「元気がなく、顔色が悪い」、　　　　　　　　　　　　　　　「唇が渇いていて、トイレに行くことが少ない」**などある場合は、もう一度受診が必要です。

**あきたけ病児保育室**

**住所：門司区東門司２－４－１８**

**TEL：093-321-0541　または　090-6491-3697　　　　　　　病児保育室担当　秋元**